

行事／取組名称	科学オリンピックへ挑戦！講座（プレチャレンジ in 岡山）		
担当者	原田 勲（JPh0）、平松美喜雄（岡山朝日高校）		
開催日時・期間	平成 29 年 5 月 27 日（土） 13 時 00 分～15 時 00 分	会場	岡山朝日高校（岡山市）
主 催	岡山県立岡山朝日高等学校	後援	
共 催	物理オリンピック日本委員会（JPh0）		
協 賛			
概要			
岡山では県教育委員会を中心に科学教育に熱心に取り組んでおり、特に岡山朝日高校からは過去物理チャレンジにも多くの生徒が挑戦、中でも IPh0 メキシコ大会では同校生が銀メダルに輝いている。今回プレチャレンジ開催の要請があり、原田が対応した。特に今回の講座には、近隣の岡山大付属中学から先生 2 名と生徒 6 名の参加があり、講習内容に大変興味を示すとともに、物理チャレンジの過去問題にも果敢に挑戦した。講習会後には岡山朝日高校の物理部の生徒と将来の進路などについて懇談した。 参加者は、プレチャレンジを通して物理への興味を深め、身近な現象の解説により物理の楽しさの一面を経験し、物理チャレンジ大会などへの挑戦意欲を一層高めたものと思っている（事後のアンケートより）。			
参加者	教員	高校生	中学生
	教員 5 名	23 名	6 名

報告事項
今回岡山朝日高校が中心となり、物理に関心のある生徒を中心にプレチャレンジへの参加者を募り、物理チャレンジへの挑戦や物理好きを増やす試みとして企画された。この活動は、「理数分野で卓越した意欲・能力を有する生徒を発掘し、その意欲・能力をさらに伸ばす取組を行うことで、国際的に活躍できる科学者、科学技術者の育成を目指す」という JPhO の趣旨に整合し、JPhO はこの活動を支援するために科学オリンピックへ挑戦！講座（プレチャレンジ in 岡山）を支援した。 講座は下記のスケジュールで行われた： 13：00～13：50 開会・「物理チャレンジと国際物理オリンピック」 13：50～14：00 休憩 14：00～14：50 「物理への誘い」・「実験レポートの書き方」 15：00 閉会 15：00～15：30 物理部員との懇談 最初に原田が物理チャレンジや IPhO の紹介を紹介し、その後、虹などの身近な現象を題材にした解説、物理チャレンジの過去問題を用いた物理への誘い、実験レポートの書き方などについて講義した。参加者には中学生も交じっており、物理を十分習っていない者もいたため、内容はあまり理解出来ない生徒達もいたが、それでも普段あまり話題にならない現象を物理という立場からどのように考えると良いかを学び、果敢に問題に挑戦する姿勢が印象的であった。 多くの参加者は、プレチャレンジで見たり聞いたりした事柄や物理的現象の背後にある簡単な法則に興味を示したようで、これらの参加者に物理への興味を喚起できたものと自負している。後日、岡山朝日校の平松先生から頂いた“アンケートや写真”を読んだり見たりしていると、生徒たちにとってこの講座が貴重な経験となり、何かへの挑戦の第一歩となることを確信し、この企画が有意義であったことを信じる。 最後に、このようなイベントを企画し、生徒達に科学現象に対する興味を持たせる取り組みを継続されている岡山朝日高校に、敬意を表するとともに感謝を申し上げる。



